

第45回 道風の書臨書作品募集要項 一般用

春日井市では、書聖小野道風の偉業をしのび、これを末永く後世に伝えるとともに書道文化の一層の向上発展を願って、昭和56年11月、道風誕生の地と伝えられる当市松河戸町に春日井市道風記念館を開館しました。

道風記念館事業の一環として、昭和57年度から道風の書臨書作品展を行っており、審査の結果優秀に選考された作品は、記念館の収蔵品として大切に保存しています。

この作品募集は、和様の書を創始した小野道風の偉大さを改めて考えていただくことを目的の一つとしており、小野道風の書だけでなく和様の書を継承し完成させた藤原佐理・藤原行成の書も課題の範囲とします。

本年度は下記のとおり募集しますので、本展の趣旨をご理解いただき、奮ってご応募ください。

- | | |
|--------------------|--|
| 1 臨書の対象
(※裏面参照) | <input type="radio"/> 藤原行成筆白氏詩卷「上陽宮裏暁鍾後～始知地上有神仙」7行 (詩の題は含めない)
<input type="radio"/> 伝小野道風筆本阿弥切のうち、「たゞみね いのちにもまさりて～いのちなりける」15行 |
| 2 作 品
(※裏面参照) | <input type="radio"/> 作品はすべて書き下ろしのこと。
<input type="radio"/> 文字の大きさは原寸大とし、原本どおりの字配りとする。
<input type="radio"/> 虫損等の部分は補って書くこと。
<input type="radio"/> 料紙は任意とするが、1枚に書くこと。(継がないこと。)
<input type="radio"/> 出品点数は「白氏詩卷」「本阿弥切」ともに各1点とする。
<input type="radio"/> 出品票は1人1枚とする。
<input type="radio"/> 作品には氏名・号を記入したり、印を押したりしないこと。
<input type="radio"/> 作品の裏面の縁に鉛筆で軽く氏名を記入すること。 |
| 3 出 品 料 | 無 料 |
| 4 賞 | 優秀・秀作・入選
(入選以上を展示し、優秀作品は道風記念館に永年保存します。) |
| 5 搬入場所・問い合わせ | 〒486-0932 春日井市松河戸町5丁目9番地3
春日井市道風記念館 ☎0568-82-6110
URL https://www.city.kasugai.lg.jp/shisetsu/bunka/tofu/index.html |
| 6 搬入締切 | 令和8年10月23日(金)必着(送付可) |
| 7 審査員 | 道風記念館顧問 古谷 稔 福田哲之 四辻秀紀 |

第45回 道風の書臨書作品出品票 一般用

※ 受付番号

[注意]

- ◎ 太枠の欄を全項目楷書で記入すること。
- ◎ 1人1枚添付すること。
(糊付けはしない)
- ◎ 課題名欄は、出品する作品の題名を○でかこむこと。
(2点出品の場合は両方)
- ◎ ※欄には記入しないこと。

※	成績	成績

ふり 姓 (または氏名)		
がな 号		
郵便番号		
住 所		
電話番号		
課題名	白氏詩卷	本阿弥切

臨書作品出品の注意

1 手本について

今回の課題「白氏詩卷」「本阿弥切」が掲載されている主な出版物は下記のとおりです。原寸大でないものもありますのでご注意ください。

白氏詩卷

原寸

- 二玄社 日本名筆選40 藤原行成集 8・9頁
- 二玄社 日本名跡叢刊12 藤原行成 11・12頁

原寸でないもの

- 同朋舎 日本書学大系13 藤原行成 5・6頁

本阿弥切

原寸

- 二玄社 日本名筆選29 本阿弥切 14・15頁
- 二玄社 日本名跡叢刊42 本阿弥切 27・28頁
- 書芸文化新社 平安朝かな名蹟選集35 伝小野道風筆本阿弥切卷十二
- 同朋舎 日本書学大系25 本阿弥切 24・25頁

2 料紙について

白氏詩卷

- 原本のサイズは、縦25.2cmです。文字は原寸大で書いていただきますが、料紙の大きさは任意です。天地左右に余裕をもって書くとよいでしょう。
- 原本の料紙は斐紙です。料紙の種類は任意ですが、墨のにじみにくい料紙がよいでしょう。

本阿弥切

- 原本のサイズは縦16.7cmです。文字は原寸大で書いていただきますが、料紙の大きさは任意です。天地左右に余裕をもって書くとよいでしょう。
- 原本の料紙は唐紙です。料紙の種類は任意ですが、墨のにじみにくい料紙がよいでしょう。本阿弥切用の料紙が書道用品店で販売されています。